

# 歳入確保戦略（2026～2030）概要版

## 1. 策定の背景と目的

豊中市がこれからも「住み続けたいまち」でありつづけるために、物価高騰や金利の上昇、社会保障ニーズの多様化等、激変する社会経済情勢に対応し、中長期的な視点で財務マネジメントを強化することを目的としています。

【戦略期間】

令和8年度（2026年度）～令和12年度（2030年度）

## 2. 現状の課題

- 施設の老朽化 ⇒ 公共施設・インフラの更新に多額の経費が必要
- 社会保障関係経費の増加  
⇒ 高齢化や福祉ニーズ増により、社会保障関係経費が増大傾向
- 金利の上昇  
⇒ 施設整備の公債費負担が増加、基金運用による歳入拡大の期待

## 3. 戦略の3つの柱

行政運営の効率化や市有資産のポテンシャルの最大限化のため、これまでの方針を継承しつつ、データ分析や外部活力の導入等も行いながら着実な歳入確保に取り組むとともに、社会情勢の変化に対応した戦略的取組事項を重点項目として進めることで、強固な歳入基盤の確立をめざします。

### 基礎的な歳入の着実な確保

- 公平・公正な課税の推進と効率的な徴収の徹底
- 国・府・地方債等財源の確保・活用
- 受益者負担の適正化

### 新たな発想による積極的な歳入確保

- 公共空間・資産の利活用による収益事業の創出
- ★ 基金運用の強化 ⇒ **基金運用戦略**
- ★ 寄附のさらなる獲得 ⇒ **寄附強化指針**

重点項目（戦略的取組事項）

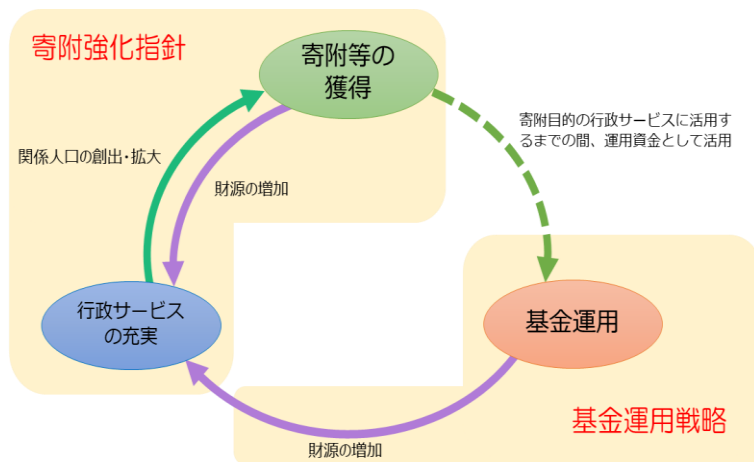
### 市民所得・経済循環の充実による税収向上

- エコシステムの推進による税収向上
- 都市魅力の向上による人口の増大

## 4. 重点項目

物価高騰や金利上昇局面にある現在、資産を単に維持・管理するよりも、安全性を確保しつつ、より積極的に資産を活用することで、歳入基盤を強化します。

関係人口を拡大し市内外から戦略的に資金を呼び込む『寄附』と、内部資金の価値を守り増幅させる『基金運用』を重点項目に掲げ、推進します。



## 5. 主な取り組み

### 基礎的な歳入の着実な確保

- ◆ 課税客体の把握 ◆ 口座振替の推進 ◆ 計画的な債権の回収および整理
- ◆ 国庫支出金・府支出金の着実な確保 ◆ 有利な地方債の活用
- ◆ 使用料・手数料等料金設定の見直し

### 新たな発想による積極的な歳入確保

- ◆ 有料広告の需要の把握・分析 ◆ 広告媒体の整理とカタログ化 ◆ ネーミングライツの実施
- ◆ 市有財産の貸付・売却等有効活用 ◆ リバースピッチ等の活用による多様な主体との連携

### 市民所得・経済循環の充実による税収向上

- ◆ 市内事業者の活性化やスタートアップ支援に伴う税収向上
- ◆ 定住人口・交流人口の拡大に伴う税収向上

## 6. 目標

本戦略と変革の推進による取組みにより**累計45億円の歳入確保**をめざします